

区長室

## 路上変圧器を活用したデジタルサイネージ等による 防災・観光情報の提供に関する実証実験の実施について

### 1 経緯、背景

区は、港区基本計画（平成30年度～令和2年度）や港区情報化計画の下、デジタルサイネージの活用、とりわけ民間事業者との連携による民間サイネージでの情報発信を推進しています。

現在、国土交通省は、路上変圧器を活用した防災・観光情報等の提供に関する有用性を検証するための実証実験地域を公募しています。この実験の枠組みは、自治体と連携する民間事業者がサイネージ等を設置し、広告収入で維持管理する中で、情報発信していくものであり、実証実験地域では路上の広告物に関する占用許可基準が緩和されます。先行してさいたま市、岐阜市が選定されています。

区は、デジタルサイネージを活用した区政情報の発信を推進するため、民間事業者との連携体制の下、国土交通省の実証実験地域に応募し、情報発信の有効性や事業継続性等について検証します。

### 2 実証実験の概要

(1) 国土交通省への応募

令和元年11月

(2) 実施場所

虎ノ門一丁目～三丁目の国道及び区道上

(別紙図1のとおり。令和2年開業予定の日比谷線虎ノ門ヒルズ駅周辺)

(3) 路上変圧器の活用方法

サイネージ設置及び壁面へのラッピング 2台

壁面へのラッピング 6台

(4) デザイン

別紙図2のとおり。サイネージでは、区政情報のほか地域防災情報、交通情報、商業広告等を配信します。壁面には「MINATOフラッグ制度」の周知及び商業広告を掲出します。USB充電ポート（2口）も備え、観光中や災害時のスマートフォン充電に利用できます。

(5) 設置期間

令和元年11月～令和2年11月

### 3 実証実験の連携体制

連携の主体	役割
港区	区政情報の提供
東京電力パワーグリッド株式会社	路上変圧器へのサイネージの設置及び維持管理、路上変圧器のラッピング、情報配信システムの開発及び運用
東電タウンプランニング株式会社	商業広告の募集及び審査
パナソニック株式会社	情報配信システムの開発及び運用に係る支援及び調整

### 4 主な検証内容

#### (1) 求められる情報

区民や在勤者、来街者、広告主へのアンケート及びヒアリングの実施、サイネージのセンサを用いた視聴傾向及び視聴者属性の分析により、どのような情報が見られ、必要とされているのかを検証します。

#### (2) 今後の拡大の可能性

設置及び維持管理にかかったコストと商業広告掲出によって得られた収入を算出し、路上変圧器を活用したデジタルサイネージ等による情報発信の今後の拡大可能性について検証します。

### 5 実証実験の実施に係る費用負担

区の費用負担はありません。

### 6 今後の予定

令和元年11月 国土交通省による実証実験地域の選定  
路上変圧器へのサイネージ設置・ラッピング

令和2年3月 国土交通省への実証実験中間報告

11月 実証実験期間終了※

※国土交通省は実証実験の検証結果を取りまとめ、路上の広告物に関する占有許可基準の緩和を本格導入する予定であり、国の動向及び検証結果によっては、実証実験期間終了後も継続して設置します。



- サイネージ設置及び壁面へのラッピング 2台
- 壁面へのラッピング 6台

図1 実証実験実施場所

出典：国土地理院ウェブサイト (<http://maps.gsi.go.jp>)  
港区虎ノ門周辺イメージをもとに作成



図2 サイネージ及びラッピングのデザイン  
左：壁面へのラッピング（6台）  
右：サイネージ設置及び壁面へのラッピング（2台）